

科学センター集録

＝第 68 集＝

令和 7 年度版



岩国市科学センター

目 次

○歴代館長名簿

目次----- 1

科学センターの歴史----- 2

科学センター経営概要----- 3

令和 7 年度実施事業----- 5

令和 7 年度主要事業の実施状況----- 7

令和 7 年度展覧会等の出展・受賞状況-----14

科学センターの歴史

1 科学センター開館まで

昭和 26 年の岩国市理科教育連盟の創設により、研究授業、実技講習会、巡回移動講習会や科学移動教室を開催し、昭和 27 年には第 1 回の科学作品展、科学研究発表会、模型飛行機グライダー競技会を始める。昭和 27 年 11 月に教育委員会が発足。昭和 28 年 1 月に岩国市理科教育研究会が結成されて、巡回科学移動教室が一段と活発化し、県科学展、科学研究発表会や広島大学科学研究発表会等で優秀な入賞者を輩出した。

このような中で、活動の拠点としての研究施設開設の期待が高まり、昭和 29 年 11 月に麻里布小学校で開催された科学振興展覧会を契機に、科学センターの仮設場所として同小学校離れ校舎の教室が当てられた。

2 科学センター開館（本庁 7 階） 昭和 35 年～昭和 44 年

岩国市科学センターは、広兼教育長（当時）などの努力により、昭和 34 年の新庁舎完成にあわせて、昭和 35 年 1 月、庁舎 7 階に設置される。

初代館長に河本新太郎指導主事が学校教育課長補佐から就任し、昭和 36 年 2 月から雑賀英男を指導員として委嘱する。

昭和 37 年度から、従来の移動科学教室の発展として、クラブ組織と指導員制度を確立させ、市内小学校 5 年から中学校 3 年までの児童・生徒に参加希望を募って、年間を通しての計画的な指導を始める。（鉱物、植物、昆虫、電気、化学、検鏡、魚貝、科学工作、物性、天体、気象、アマ無線、写真、計算尺）

昭和 40 年度には、冬季休業中における自由課題として第 1 回岩国市小中学校発明工夫・科学工作展を実施する。

3 横山二丁目（現吉香公園内）に移転 昭和 44 年～昭和 48 年

市庁舎が手狭になったため、昭和 44 年 1 月 20 日に旧岩国高校講堂跡（横山二丁目）に引越し、昭和 44 年 4 月に開館する。

昭和 48 年 6 月 30 日に、指導員を非常勤職員として身分保障した条例及び規則が制定される。この年から、スズムシの無料配布が始まる。

4 今津六丁目（旧消防本部所在地）に移転 昭和 48 年～昭和 53 年

吉香公園整備のため、昭和 48 年 8 月 26 日に旧水道局庁舎跡（今津六丁目）に移転する。ホタルの人工養殖場をつくる。（昭和 50 年度）

5 山手町一丁目（旧料理学校跡）に移転 昭和 53 年～平成 20 年

市民会館の新築により、消防本部が今津六丁目の科学センター所在地に移転することになったため、昭和 53 年 1 月に、市役所山手庁舎（山手一丁目）内に移転する。

平成 18 年 3 月 20 日、8 市町村が対等合併し、新岩国市が誕生する。

6 麻里布六丁目（旧税務署跡）に移転 平成 21 年～令和 8 年 2 月

山手庁舎老朽化のため、平成 21 年 1 月に市役所麻里布庁舎（旧税務署跡）内に移転する。

7 黒磯町二丁目（旧独立行政法人岩国市医療センター跡）に移転 令和 8 年 4 月～

福祉と科学学習施設の複合施設として新設された「いこいと学びの交流テラス」に移転し、令和 8 年 4 月 19 日にオープニングセレモニーを行い、同 21 日に供用開始する。

科学センター経営概要

子どもたちの理科離れが叫ばれる中、自然との対話の不足が気になるところです。また、ハサミ、カッターナイフ、ものさし、ひもなどの道具を利用した遊びが少なくなったことから、道具が使えない子どもたちも増えています。

かつて、ノーベル物理学賞受賞者の朝永振一郎氏は、

「ふしぎだということ　これが科学の芽です。」

よく観察してたしかめ　そして考えること　これが科学の茎です。」

そして最後になぞがとける　これが科学の花です。」

と語っています。「科学の花」を咲かせるために、科学センターは、「自然」と「道具」をキーワードに、「か」「が」「く」を重点施策にします。

経営の基本方針

「か」　科学への興味を育む環境づくり

「が」　学校では取り組みにくい体験活動の充実

「く」　暮らしの中の科学や道具についての学びの推進

施策項目

「か」　科学への興味を育む環境づくり

- (1) 市民・教員・児童生徒を対象とした科学講座の開催
- (2) 優れた児童生徒の科学作品の展示及び表彰
- (3) 岩石・鉱物、昆虫など岩国市にちなんだ標本展示や天体観察の充実

「が」　学校では取り組みにくい体験活動の充実

- (1) 基本的な道具の使い方を学べる科学教室の開催
- (2) よく聞き、考え、みんなと創造する科学教室の開催

「く」　暮らしの中の科学や道具についての学びの推進

- (1) 道具を使った科学的な遊びなど科学教材の開発や紹介
- (2) 暮らしの中に科学を見つける活動の充実
- (3) 科学教育研究のための資料の整備及び相談
- (4) 企業などとの連携

予算について（令和7年度当初予算）

福祉科学学習施設事業費	4,007 千円
（内訳）いこいと学びの交流テラス管理運営費	4,007 千円
科学センター費	434,279 千円
（内訳）人件費	76,663 千円
科学センター運営費	833 千円
科学の祭典開催事業費	1,044 千円
各種教室開催事業費	3,870 千円
いこいと学びの交流テラス整備事業費	348,844 千円
ミクロ生物館管理費	3,025 千円

開館日数及び入館者数（令和7年度 科学センターのみ）

開館日数 253 日
（令和8年2月20日、旧センターでの最終営業日の後、2月21日から休館）
入館者数 3,939 人

センターの施設

〔建物〕

令和8年2月まで岩国市役所麻里布分室の1階と2階の一部を使用

主要な部分の面積 約 523 m²

1 階 約 287 m²（展示コーナー、小会議室、資料室、倉庫、事務室等）

2 階 約 236 m²（講座室、会議室、準備室、倉庫等）

その他（共用部） 約 269 m²

他に 屋外倉庫 35 m²、別棟工作室 32 m²

令和8年3月以降、いこいと学びの交流テラス内 合計 1,920 m²

展示室 490 m²

講座室・実験室・工作室 300 m²

事務室・準備室 200 m²

資料室（サイエンスライブラリー） 90 m²

多目的室（プラネタリウム） 70 m²

倉庫・収蔵庫 520 m²

その他（共用部） 250 m²

岩国市ミクロ生物館

主要な部分の面積 約 188 m²

専有部延床面積 約 112 m²（展示室、実験室、操作室、準備室等）

共有部延床面積 約 76 m²（体験学習室、情報交流室）

〔設備・展示品〕

天体望遠鏡（200mm反射望遠鏡）ミードLX200-20

平成12年7月4日寄贈 410千円

（200mm反射望遠鏡）Vixen VC200L

平成30年9月購入（ふるさと基金）

（150mmの反射式望遠鏡）Vixen スーパーポラリスR-150S

令和2年3月21日寄贈

岩石鉱物標本 約1,000点（他に未登録約500点）

昆虫標本 約30ケース

貝標本 約200点

植物標本 約10箱

〔主な寄贈品〕

ウェッデルアザラシ剥製	1	昭和62年9月3日
アデリーペンギン剥製	1	昭和62年9月3日
琥珀（1億年前）	1	平成5年1月19日
カラーテレビ及びビデオデッキ	1	平成7年3月10日
液晶プロジェクター	1	平成10年5月6日
ナウマン象の上腕骨	1	平成16年4月14日
黄鉄鉱・硫黄・水晶ほか		平成19年6月8日
ワイヤレスマイク一式		平成20年11月18日
実験用机、陳列ケースほか		平成20年11月18日
喜和田タングステン標本ほか		平成20年12月2日
岩国周辺の岩石	32個	平成21年11月28日
全国の鉱石（旧美川町寄贈受）	1,000点（登録数約460点）	平成22年9月3日移管
化石（三葉虫・魚・化石木）		平成22年11月25日
「岩国市の自然」（複写版）	100冊	平成27年3月31日
アマミサソリモドキの標本		平成28年11月13日
ワニ・アルマジロの剥製		平成29年6月1日
150mmの反射式望遠鏡		令和2年3月21日
ウミガメ剥製2体		令和3年6月15日
光る石資料館所蔵資料	一式	令和6年4月22日
昆虫等の生物標本	22点	令和8年2月5日
木製ベンチ		令和8年2月17日

令和7年度 実施事業

「か」 科学への興味を育む環境づくり

- (1) 市民を対象とした科学講座の開催
 - ① 児童生徒を対象とした科学教室の開催
- (2) 優れた児童生徒の科学作品の展示及び表彰
 - ① 科学振興展覧会の開催
 - ② 発明工夫・科学工作展の開催
 - ③ 優れた作品や研究に対する表彰の実施
- (3) 岩石・鉱物、昆虫など岩国市にちなんだ標本展示や天体観察の充実
 - ① 動植物の飼育・栽培の奨励
 - ② 植物・昆虫・岩石・鉱物の同定（植物・昆虫・岩石・鉱物の採取・標本類の名前を調べること）会の開催

「が」 学校では取り組みにくい体験活動の充実

- (1) 基本的な道具の使い方を学べる科学教室の開催
 - ① 道具を使った科学教室の実施
- (2) よく聞き、考え、みんなと創造する科学教室の開催
 - ① 創造する科学教室の実施
 - ② 科学クラブの効果的な運営

「く」 暮らしの中の科学や道具についての学びの推進

- (1) 道具を使った科学的な遊びなど科学教材の開発や紹介
 - ① 教材・教具等の貸出
 - ② 科学教材・工作の展示
- (2) 暮らしの中に科学を見つける活動の充実
 - ① 青少年のための科学イベントの開催
 - ② 科学講演会の開催
 - ③ スズムシの無料配布
- (3) 科学教育研究のための資料の整備及び相談
 - ① 夏休み自由研究相談会
 - ② 同定会の開催
 - ③ 科学センター月報の発行

(4) 自然科学団体や民間企業などとの連携

① 他館・企業・学校と連携した科学教室

広島市こども文化科学館
岩国プログラミングクラブ
三井化学株式会社岩国大竹工場 ふしぎ探検隊
三笠産業株式会社
九州職業能力開発大学校
電子工作メイカー 堂官 利秀
アロマイNSTストラクター 星原 琉玖
山口県椎茸農業協同組合

② 「青少年のための科学の祭典 2025 in 岩国」

岩国市立川下中学校科学部
科学工作クラブ
安田女子中学高等学校 科学部
山口県立岩国工業高等学校 システム化学科
東京科学大学同窓会
周防大島なぎさ水族館
岩国市文化スポーツ振興部 文化財課
大島商船高等専門学校
長州科楽維新プロジェクト
Young Scientists みんなの理科室(酒井秋絵ラボ・本田功輝ラボ)
游ゆう模型クラブ 鉄道部
科学センターteachers

③ 岩国市・和木町科学振興展覧会

和木町教育委員会
岩国市・和木町小学校教育研究会理科部会
岩国市・和木町中学校教育研究会理科部会

④ 岩国市発明工夫・科学工作展覧会

岩国市・和木町小学校教育研究会理科部会
岩国市・和木町中学校教育研究会理科部会
株式会社日刊いわくに

⑤ 藤岡市助博士記念科学振興表彰

藤岡市助博士顕彰会、株式会社東芝、

⑥ その他（後援、共催、協力など）

防衛装備庁
特定非営利活動法人 日本水中ロボネット
岩国科学をたのしむ会
夏休みジュニア科学教室実行委員会
有限会社らかん高原
公益財団法人岩国市文化芸術振興財団
岩国地域林業振興連絡協議会

令和 7 年度 主要事業の実施状況

「か」 科学への興味を育む環境づくり

(1) 市民を対象とした科学講座の開催

① 児童生徒を対象とした科学教室の開催

ア 科学センターの指導員等による科学教室（29 回）

月日	曜日	時間	講座名	場所	参加人数
5月11日	日	9:30～11:30 13:30～15:30	君も科学者 DNAを取り出せ！	科学センター	32人
5月25日	日	9:30～11:30 13:30～15:00 15:30～17:00			28人
6月8日	日	9:30～11:30 13:30～15:30			簡単モーターを作ろう！
6月22日	日	9:30～11:30 13:30～15:30	32人		
7月13日	日	9:30～11:30 13:30～15:30	羽だけが飛ぶ！竹とんぼを作ってみよう！！	科学センター	32人
7月27日	日	9:30～11:30 13:30～15:30			32人
10月11日	土	9:30～11:30 13:30～15:30	水は人の高さを超えるか。大気圧大実験！	科学センター	29人
10月26日	日	9:30～11:30 13:30～15:30			30人
10月19日	日	9:30～10:15 10:45～11:30 13:30～14:15 14:45～15:30	あっという間に科学者気分！簡単実験・工作を体験しよう！	科学センター	40人
12月6日	土	9:30～11:30 13:30～15:30	草木染めに挑戦！	科学センター	26人
12月21日	日	9:30～11:30 13:30～15:30			24人
1月17日	土	9:30～11:30 13:30～15:30	ドライアイスの不思議を解き明かそう！	科学センター	29人
1月31日	土	9:30～11:30 13:30～15:30			31人
※5/25科学教室「君も科学者 DNAを取り出せ！」について、				合計	397人

※5/25科学教室「君も科学者 DNAを取り出せ！」について、午前と午後の予定だったが、運動会が雨天順延のため、午前中に受講できない児童のために午後を追加実施した。

イ 他館・企業・学校と連携した科学教室（計 15 回）

月日	曜日	時間	講座名	場所	参加人数
5月18日	日	13:30～15:00	光で遊ぼう！with広島市こども文化科学館	岩国市民文化会館 第1研修室	29人
6月15日	日	13:30～14:30 15:00～16:00	植物の知恵で夏を快適に！アロマでやさしい虫ケアスプレー	岩国市民文化会館 第1研修室	59人
6月29日	日	13:30～15:00	プログラミングを体験しよう with岩国プログラミングクラブ	岩国市民文化会館 第1研修室	13人
7月6日	日	13:30～14:30 15:00～16:00	UVって何？ブラックライトで光るスライムを作って学ぼう！with三笠産業株式会社	岩国市民文化会館 展示室	60人
8月8日	金	9:30～10:15 10:30～11:15	カラフル人工イクラを作ろう！ with三井化学ふしぎ探検隊	岩国市民文化会館 第1研修室	60人
8月23日	土	10:30～12:00 13:30～15:00	海に浮かぶエコな発電！洋上風力発電を学ぼう！with九州職業能力開発大学校	岩国海洋環境試験評価 サテライト	26人
11月16日	日	13:30～15:00	人が近づくと光るLEDランタンをつくろう	科学センター 講座室	14人
12月13日	土	13:30～14:30 15:00～16:00	つやつやで色とりどり！みんなでクリスマス・アロマソープを作ろう！	岩国市民文化会館 第1研修室	31人
1月18日	日	13:30～14:15 14:45～15:30	キノコを学んで育てよう！原木シイタケ駒打ち体験	科学センター 講座室	39人
合計					331人

ウ 出前科学教室

開催なし

(2) 優れた児童生徒の科学作品の展示及び表彰

① 科学振興展覧会の開催

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
9月18日	木	14:00 ～17:00	令和7年度岩国市・和木町科学振興展覧会審査会	科学センター	21人
9月26日 ～10月3日	金 金	9:00 ～17:00	令和7年度岩国市・和木町科学振興展覧会	科学センター	437人
11月5日	水	16:00 ～17:00	令和7年度岩国市・和木町科学振興展覧会表彰式	市民文化会館	87人

② 発明工夫・科学工作展の開催

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
1月23日	金	16:00 ～17:00	令和7年度岩国市発明工夫・科学工作展覧会審査会	科学センター	4人
1月24日 ～2月3日	土 火	9:00 ～17:00	令和7年度岩国市発明工夫・科学工作展覧会	科学センター	121人
2月4日	水	16:00 ～16:30	令和7年度岩国市発明工夫・科学工作展覧会表彰式	岩国市役所	4人

③ 優れた作品や研究に対する表彰の実施

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
3月25日	水	10:30～	令和7年度藤岡市助博士記念科学振興表彰式	市民文化会館	21人

(3) 岩石・鉱物、昆虫など岩国市にちなんだ標本展示や天体観察の充実

① 動植物の飼育・栽培の奨励

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	寄贈者数	配布人数
7月15日 ～7月20日	火 日	9:00 ～17:00	スズムシの無料配布	科学センター	22人	134人

② 植物・昆虫・岩石・鉱物の同定

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
8月9日	土	9:30 ～12:00	同定会	科学センター	岩石2人

「が」学校では取り組みにくい体験活動の充実

(1) 基本的な道具の使い方を学べる科学教室の開催

① 道具を使った科学教室の実施

「か」(1) ①に同じ

(2) よく聞き、考え、みんなと創造する科学教室の開催

① 創造する科学教室の実施

「か」(1) ①に同じ

② 科学クラブの効果的な運営（9クラブ）

令和7年度科学クラブ員・指導員数

No.	クラブ名	クラブ員 (小学生)	クラブ員 (中学生)	ジュニア 指導員	指導員	合計	対象学年
1	植物	15人			5人	20人	小3～小6
2	昆虫	14人			8人	22人	小4～小6
3	岩石・鉱物	20人		8人	5人	33人	小4～小6
4	天体	15人			6人	21人	小4～小6
5	ミクロの世界たんけん	16人			6人	22人	小3～小6
6	理科実験	20人			6人	26人	小4～小6
7	科学工作	20人			6人	26人	小5～小6
8	身近な化学実験	10人			3人	13人	小6
9	科学実験		8人		4人	12人	中1～中3
	合計	130人	8人	8人	49人	195人	

令和7年度科学クラブ活動実績

No.	クラブ名	開催日	内容	場所	人数
1	植物クラブ①	5月17日	今年度の活動概要説明、身近な植物の標本作り	市民文化会館 第一研修室	13人
2	植物クラブ②	6月14日	身近な野草のエトセトラ	科学センター 講座室	11人
3	植物クラブ③	7月5日	珍しい植物の観察、夏の植物の観察	広島市植物公園	12人
4	植物クラブ④	10月18日	城山周辺のキノコの観察と採集	城山 サンライフ岩国大会議場	12人
5	植物クラブ⑤	11月1日	晩秋の城山周辺の植物（木の実、樹木）の観察と採集	城山 サンライフ岩国大会議場	11人
6	昆虫クラブ①	5月10日	クラブ活動の概要・道具の購入について	科学センター 講座室	14人
7	昆虫クラブ②	5月31日	採集及び展翅の仕方について	科学センター講座室、長山公園	14人
8	昆虫クラブ③	6月28日	横山での採集	横山紅葉谷公園	14人
9	昆虫クラブ④	7月12日	美和 大根川みがき公園での採集	美和町大根川みがき公園 駐車場	13人
10	昆虫クラブ⑤	9月6日	広島市森林公園こんちゅう館の見学	広島市森林公園 こんちゅう館	14人
11	岩石・鉱物クラブ①	6月7日	錦川の小石を集めよう（1）	錦帯橋下河原	20人
12	岩石・鉱物クラブ②	6月21日	錦川の小石を集めよう（2）	錦帯橋下河原	16人
13	岩石・鉱物クラブ③	7月12日	集めた小石を入れる箱を作ろう	科学センター 講座室	20人
14	岩石・鉱物クラブ④	8月8日	洞窟探検と石灰岩の学習を予定	秋吉台	15人
15	岩石・鉱物クラブ⑤	10月12日	花こう岩から砂鉄を取り出そう	科学センター 講座室	13人

No.	クラブ名	開催日	内容	場所	人数
16	天体クラブ①	5月31日	天体観測の基礎知識 月、春の星座	科学センター講座室	14人
17	天体クラブ②	8月30日	月、夏の星座	科学センター講座室	11人
18	天体クラブ③	10月25日	月、土星、夏・秋の星座	科学センター講座室	10人
19	天体クラブ④	12月13日	ふたご座流星群、土星、木星、秋・冬の星座	玖珂あいあいセンター	7人
20	天体クラブ⑤	2月21日	月、木星、冬の星座	玖珂あいあいセンター	9人
21	ミクロの世界たんけんクラブ①	6月21日	夏の海のミクロ生物を調査しよう	ミクロ生物館	15人
22	ミクロの世界たんけんクラブ②	7月5日	「夏みくろん」をつくろう&夏の湖のミクロの世界をのぞいてみよう	ミクロ生物館	12人
23	ミクロの世界たんけんクラブ③	9月6日	秋の海のミクロ生物を調査しよう	ミクロ生物館	14人
24	ミクロの世界たんけんクラブ④	9月20日	「秋みくろん」をつくろう&秋の湖のミクロの世界をのぞいてみよう	ミクロ生物館	15人
25	ミクロの世界たんけんクラブ⑤	11月29日	気になるものを何でも顕微鏡で調査しよう	ミクロ生物館	14人
26	理科実験クラブ①	6月7日	空を飛ぶもの	東中学校理科室	20人
27	理科実験クラブ②	6月14日	偏光板万華鏡を作ろう、フックの顕微鏡を使って植物を観察	東中学校理科室	12人
28	理科実験クラブ③	6月21日	電子レンジでべっこうあめを作ろう	東中学校理科室	19人
29	理科実験クラブ④	6月28日	スライム、スーパーボールを作り、高分子やゲル化について学ぶ	東中学校理科室	16人
30	理科実験クラブ⑤	7月5日	空を飛ぶのも2	東中学校理科室	15人
31	理科実験クラブ⑥	7月12日	握力計の科学	東中学校理科室	19人
32	科学工作クラブ①	5月17日	PETボトルを使った科学工作	科学センター講座室	17人
33	科学工作クラブ②	6月7日	紙コップを使った科学工作	科学センター講座室	13人
34	科学工作クラブ③	6月21日	フィルムケースを使った科学工作	科学センター講座室	18人
35	科学工作クラブ④	7月5日	科学の祭典で紹介する作品を先に作ろう	科学センター講座室	19人
36	科学工作クラブ⑤	7月19日	はんだ付け工作(電子機器工作)	科学センター講座室	20人
37	身近な化学実験クラブ①	7月26日	実験する時の注意、植物の色素の分析とそれを利用する実験	科学センター講座室	8人
38	身近な化学実験クラブ②	8月2日	色々な金属を使った電池作り、水の電気分解と燃料電池の実験	科学センター講座室	8人
39	身近な化学実験クラブ③	8月9日	カビの研究の準備、燃料電池の実験、石鹼を作る実験	科学センター講座室	6人
40	身近な化学実験クラブ④	8月16日	カビの研究発表、豆腐造りとDNAの取り出し実験	科学センター講座室	7人
41	身近な化学実験クラブ⑤	8月23日	ヨウ素液を使った実験	科学センター講座室	5人
42	身近な化学実験クラブ⑥	8月30日	デンプンの消化、ルミノール反応の実験	科学センター講座室	8人
43	科学実験クラブ①	7月23日	トランジスタの増幅実験 (オームの法則の実証実験・LEDの明るさ実験)	科学センター講座室	8人
44	科学実験クラブ②	7月25日	ピンホールカメラの製作(カメラの原理)	科学センター講座室	7人
45	科学実験クラブ③	7月30日	ビスマスの再結晶	科学センター講座室	5人
46	科学実験クラブ④	8月6日	ヒコーキ	科学センター講座室	6人

※6/14(土) 昆虫クラブ 徳地青少年自然の家での採集会は雨天のため中止し、9/6

(土) 広島市森林公園こんちゅう館の見学に変更

※6/14(土) 岩石・鉱物クラブは雨天のため予備日 6/21(土)に変更

(3) 科学教育研究のための資料の整備及び相談

① 夏休み自由研究相談会

月日	曜日	時間	行 事 名	場 所	参加人数
7月12日	土	9:30 ～12:00	夏休み自由研究相談会	科学センター	15人

② 同定会の開催

「か」(3) ②に同じ

③ 科学センター月報の発行

毎月初めに学校・関係機関へ配布している。

4月 (693号)	先月の行事（3月）「科学講演会 恐竜くんトークショー」「親子工作教室」「藤岡市助博士記念科学振興表彰式」「施設見学」 今月募集する行事（4月）「科学教室」「科学クラブ」
5月 (694号)	今月募集する行事（5月）「科学教室」
6月 (695号)	先月の行事（5月）「科学教室」「科学クラブ」 今月募集する行事（6月）「科学教室」「夏休み自由研究相談会」
7月 (696号)	先月の行事（6月）「科学教室」「科学クラブ」 今月募集する行事（7月）「科学教室」「スズムシ配布」「同定会」「講演会」
8月 (697号)	先月の行事（7月）「科学教室」「スズムシの無料配布」「夏休み自由研究相談会」「科学クラブ」 今月募集する行事（8月）「令和7年度岩国市・和木町科学振興展覧会 作品募集」
9月 (698号)	先月の行事（8月）「科学教室」「講演会」「科学クラブ」「同定会」 今月募集する行事（9月）「科学教室」「令和7年度岩国市・和木町科学振興展覧会 展示案内」
10月 (699号)	先月の行事（9月）「科学教室」「科学クラブ」「青少年のための科学の祭典2025 in 岩国 開催告知」
11月 (700号)	先月の行事（10月）「科学教室」「令和7年度岩国市・和木町科学振興展覧会」「科学クラブ」「施設見学」 今月募集する行事（11月）「科学教室」「講演会」「青少年のための科学の祭典2025 in 岩国 近日開催案内」
12月 (701号)	先月の行事（11月）「科学教室」「科学クラブ」「青少年のための科学の祭典2025 in 岩国」「令和7年度岩国市・和木町科学振興展覧会表彰式」 今月募集する行事（12月）「科学教室」「令和7年度 岩国市発明工夫・科学工作展覧会作品募集」
1月 (702号)	先月の行事（12月）「科学教室」「講演会」「科学クラブ」 今月のイベント告知「令和7年度 岩国市発明工夫・科学工作展覧会展示案内」「科学センター愛称募集」
2月 (703号)	先月の行事（1月）「科学教室」「令和7年度 岩国市発明工夫・科学工作展覧会」「営業終了のお知らせ」
3月 (704号)	先月の行事（2月）「日栄興業株式会社 教育資料寄贈式」「山口県立岩国工業高校 木製ベンチ寄贈式」「令和7年度 岩国市発明工夫・科学工作展覧会表彰式」「科学クラブ」

■ 令和7年度岩国市・和木町科学振興展覧会

日程：9月26日（金）～10月3日（金） 場所：科学センター

- ・岩国市と和木町の小中学校児童生徒による自然研究・観察及び標本作品（自然の部）及び科学的な工作作品（創造の部）のうち、学校から推薦された作品を展示する展覧会。

○出展数と入賞数

区分		小学校			中学校			合計		
部門別		自然	創造	合計	自然	創造	合計	自然	創造	合計
出展数		149	69	218	100	10	110	249	79	328
入賞数		67	29	96	30	4	34	97	33	130
内訳	特選	13	8	21	7	2	9	20	10	30
	入選	25	11	36	11	1	12	36	12	48
	佳作	29	10	39	12	1	13	41	11	52
県出品作品		8	7	15	6	2	8	14	9	23

○学校賞

区分	最優秀賞	優秀賞	
小学校の部	岩国市立玖珂小学校	岩国市立由宇小学校	岩国市立平田小学校
		岩国市立麻里布小学校	
中学校の部	岩国市立灘中学校	岩国市立平田中学校	岩国市立通津中学校
		岩国市立麻里布中学校	

○小学校（自然の部：特選）

作品名	学校名	学年	氏名	備考	県展賞
かまきりのかんさつ	平田小	1	廣實 蘭	県出品	
おにわのはなでいろみずだいじっけん	由宇小	1	米山 依吹		
ミヤマクワガタをさがして	麻里布小	2	竹腰 大輝		
とうみょう 土にうえたら どうなるの？	由宇小	2	田中 孝佳	県出品	
うきしずみのふしぎパート3	御庄小	3	森岡 桜羽		
タガメ【たまごから成虫まで】	平田小	3	中川 立喜	県出品	入選
墨汁の対策方法	麻里布小	4	上田 佳穂	県出品	
災害と水～もし水が使えなかったら～	東小	4	壹岐 凜		
毎週土曜日 空を見上げたら	由宇小	4	田中 秀朋	県出品	
海底湧水で塩づくり	岩国小	5	東屋 美海	県出品	
紙の強さを見つけよう!!	和木小	5	村木 陽香		
フェンシングの剣のしくみ	由宇小	6	山田 凌誠	県出品	
アゴモン！ゲットだぜ！	神東小	6	西村 仁成	県出品	

○小学校（創造の部：特選）

作品名	学校名	学年	氏名	備考	県展賞
ねこじゃらしレース	玖珂小	1	山重 穂幸	県出品	
コロコロ立体迷路	由宇小	2	安保 肇	県出品	佳作
クランクで扇風機	岩国小	3	津江 惟誠		
ゆめの岩国	川下小	3	浅野 友志	県出品	
きれいにするゾウ	米川小	4	兼近 晃成	県出品	
粗大ゴミのファンヒーターのコイルを使った風力発電機	河内小	5	齋藤 昂晴	県出品	
おせおせ！メカめ&アームでつかめ！メカうさぎ	川下小	5	大久保 博貴	県出品	佳作
イライラぼうファイナル	玖珂小	6	芦山 朋優	県出品	

○中学校（自然の部：特選）

作品名	学校名	学年	氏名	備考	県展賞
大丈夫？家周辺の液状化現象	麻里布中	1	竹林 なずな	県出品	
界面活性剤が汚れを落とすしくみについて知る	灘中	1	野坂 優牙		
塩分濃度が植物の生育に与える影響	和木中	1	足立 葵依	県出品	
静電気のふしぎ	川下中	2	貝塚 馳来	県出品	
布と洗剤の秘密	灘中	2	西場 結菜	県出品	佳作
メダカの水槽の秘密パート3	灘中	3	赤崎 真友子	県出品	入選
ヤモリの指の不思議	平田中	3	谷本 理子	県出品	佳作

○中学校（創造の部：特選）

作品名	学校名	学年	氏名	備考	県展賞
エアコン体感温度 モニタリング温度調整機	通津中	3	土井 康生	県出品	
こもれびライト4	高森みどり中	3	小松 聖明	県出品	

■令和7年度岩国市発明工夫・科学工作展覧会

日程：1月24日（土）～2月3日（火） 場所：科学センター

・冬休みや年間を通じて創作した科学知識に基づく工作作品の展覧会。

出展数17点（小学校15点、中学校2点）

作品名	学校名	学年	氏名	備考
ピッチングマシン2号	東小	4	山根 雅翔	最優秀賞 日刊いわくに賞
何の魚がつれるかな？ブルブル魚釣り	麻里布小	4	篠原 帆乃華	優秀賞

■ 令和 7 年度藤岡市助博士記念科学振興表彰

岩国市・岩国市教育委員会、並びに藤岡市助博士顕彰会の共催で、岩国市出身の藤岡市助工学博士の功績を記念するとともに、本市の児童・生徒の科学への興味関心を高めるため、優れた科学研究、科学作品製作者に「藤岡市助博士記念科学振興表彰」として以下のとおり各賞を授与しました。

○日時：3月25日（水）10：30～

○場所：岩国市民文化会館 第一研修室

【藤岡市助博士記念特別賞】

氏 名	学校名	学年	作品名
赤崎 真友子	灘中	3	メダカの水槽の秘密パート3

【市長賞】

氏 名	学校名	学年	作品名
中川 立喜	平田小	3	タガメ【たまごから成虫まで】
山根 雅翔	東小	4	ピッチングマシーン2号
篠原 帆乃華	麻里布小	4	何の魚がつれるかな？ブルブル魚釣り

【教育長賞】

氏 名	学校名	学年	作品名
安保 肇	由宇小	2	コロコロ立体迷路
大久保 博貴	川下小	5	おせおせ！メカめ&アームでつかめ！ メカうさぎ
谷本 理子	平田中	3	ヤモリの指の不思議

【藤岡市助博士顕彰会長賞】

氏 名	学校名	学年	作品名
山重 穂幸	玖珂小	1	ねこじゃらしレース
西村 仁成	神東小	6	アゴモン！ゲットだぜ！
西場 結菜	灘中	2	布と洗剤の秘密

■令和7年度科学クラブ活動報告書（抜粋）

指導員 参加人数	5	クラブ員 参加人数	11
-------------	---	--------------	----

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	植物		クラブ	記入者	松浦貴子
活動日	6月14日	天候	雨	活動場所	科学センター講座室
タイトル	身近な野草のエトセトラ(雨天につき内容変更)				
内容詳細	雨で屋外活動が困難なため急遽内田先生による座学とした。 ○ドクダミの紹介。 ○レンコンの話…穴は多いもので13個。茎に様々な大きさの穴が開いているためシャボン玉を作ると楽しい。名前の由来は蜂の巣→はちす→ハス。 ○スイレンとハスの違いについて…スイレンの葉は水面近く。ハスは水から突き出る。スイレンの葉には切れ込みがあり雨が降り増水すると抵抗なく沈む。ハスの葉には切れ込みが無く微毛が生えていて水滴が貯まる。貯まった水滴でアブラムシを洗い流す(ロータス効果)。花は30～36℃くらいに発熱し冬に触ると温かい。 ○フラスコに入った松ぼっくりの謎…水に濡れると笠を閉じて細くなる松ぼっくりの特性を利用。びんの中で乾燥させると笠が広がり不思議なおブジェが出来る。 ○世界の松ぼっくりの紹介…イタリアカサマツ、ドイツウヒ、ダイオウショウなど。 ○タンポポの話…英名「ダンデライオン」とは葉っぱをライオンの歯に見立てている。 ○タネの工作…紙とクリップを使って面白い動きをするタネの模型を作り実際に飛ばしてみる。フタバガキ→ヘリコプターのように回転する。アルソミトラマクロカルパーグライダーのように飛ぶ。ニワウルシー高速回転しながらゆっくり落ちる。 ○世界で一番大きい生き物…きのこ。東京ドーム900個分の大きさがあるものも。				
気づきなど	植物が生き残るための様々な工夫を工作等を通して楽しみながら学んでいた。 動きもあり、長時間の座学でも生徒たちが最後まで飽きずに話を聞けていた。 途中休憩の際には生徒が先生の周りを取り囲み、質問などしていた。 今回の講義によりさらに植物への関心を深めているのが伝わってきた。				

※報告費支払いの基礎資料となります。実施後はすみやかに御提出ください。

指導員		クラブ員	
参加人数	4	参加人数	14

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	昆虫クラブ			記入者	山本哲彦
活動日	2023年9月6日	天候	晴	活動場所	広島市森林公園昆虫館
タイトル	昆虫館(バックヤードを含む)の見学				
内容詳細	今年、徳地の採集会が中止になったため、昆虫館の見学を計画した。夏休み中は、バックヤードの見学を行っており、この日の実施となった。 まず、係の人から諸注意を聞いてから、『関係者以外立入禁止』の扉を開けて飼育室へ案内された。ここは、一般に公開されている展示室の裏側になる。世界のカタツムシ・クワガタムシをはじめ、水生昆虫や夜光性の昆虫、バシヨンドームを舞う蝶類などの成虫・幼虫・さなぎが飼育されている。また、飼育する上で参考になる話がいろいろ聞けて、勉強になった。話を聞く子どもたちを見て、今年のクラブ員の昆虫に対する興味・関心の深さに驚き、この見学を実施してよかったと感じた。 その後、屋外のビニールハウスへ移動した。ここには、飼育されている虫媒の幼虫が食べる植物が育てられている。そのほとんどに毒がある。『きれいな虫媒には毒がある』外敵から身を守る術(ず)だろう。最後に腐葉土が置かれている場所に行き、カタツムシの幼虫が飼育されていると聞くと、掘ってもよいと許可を得て、子どもたちは夢中で幼虫を探し、小さな幼虫を見つけると、歓喜の声をあげていた。その後、自由に館内を見学した後、昼食、自由行動。そして、バスで帰路に着いた。				
気づきなど	子どもたちにとって、とても意義深い見学になったと思われる。				

※報償費支払いの基礎資料となります。実施後はすみやかに御提出ください。

指導員 参加人数	大人5名 ジュニア4名	クラブ員 参加人数	15名
-------------	----------------	--------------	-----

科学クラブ活動報告書

※科学センター記入欄

クラブ名	岩石・鉱物クラブ			記入者	黒柳 由美子
活動日	R7.8.8	天候	晴れ	活動場所	秋吉台
タイトル	洞窟探検と石灰岩の学習をしよう				
内容詳細	市役所東玄関に集合し、出欠確認後、バスで出発した。				
	保護者同伴者は、現地集合。				
	(1)活動①景清洞洞窟探検				
	全員長靴に履き替え、ヘルメットをかぶり、懐中電灯をもって、諸注意を聞く。				
	ガイドによる解説を聞きながら、鍾乳洞の中を歩き進んだ。観光コースの奥にある				
	探検コースは、狭い所や、天井が低くなっている所があり、スリル満点である。また、				
	この日は、初めて洞窟の別道に入り、入り口まで引き返した。洞窟の外で長靴や				
	ヘルメットを返却後、解散して外で昼食をとった。				
	(2)活動②美祢市立秋吉台科学博物館学習				
	① VTR 視聴： 石灰岩のでき方や、鍾乳洞のでき方に関するビデオを20分				
	視聴する。				
	② 化石採集： 室内で説明を聞いた後、ゴーグルをつけて、外で化石を採取				
	する。希塩酸で洗い、同定していただき、2個の石灰岩をいただいた。				
気づきなど	③ 館内見学： スタンプを押しながら、常設展示の見学をする。				
	バスに乗り、人数確認後、岩国市役所まで帰る。				
	(3)次回の活動についての説明 次回は、10月12日(日)科学センターで活動。				
	前日までの猛暑でなく、気温が少し低めだったので、活動しやすかった。				
	景清洞では、探検コースで、初めて別の道を案内され、地上につながる風穴を				
	見学することができてとてもよかった。ガイドによる丁寧な解説で学習が深まった。				
	秋吉台科学博物館においても同様に、化石の同定や説明が大変丁寧だった。				
	保護者の方から、「とてもよい体験学習でした。」という感想をいただいた。				
	クラブ員(15)ジュニア指導員(4)が、よく指導員の説明を聞き、活動した。				
	指導員は、清田和幸、館英孝、村重忠、秋友高弘、黒柳由美子の5名だった。				

指導員	6	クラブ員	11
参加人数		参加人数	大人8人 小1

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	天体		クラブ	記入者	木村 泰子
活動日	2025.8.30.	天候	くもり	活動場所	科学センター2F.屋外
タイトル	夏の星座, 皆既月食, 金星, 望遠鏡				
内容詳細	・ 今月の天体				
	「夏の天三角形」				
	東の方「秋の四辺形」				
	西の方「春の大曲線」				
	・ 月 9/8(月) 皆既月食 AM1:00 ~ AM4:59				
	月食のしくみ				
	・ 金星 2025年春から秋まで「明けの明星」				
	日の出 45分前が見やすい。				
	金星の位置と地球から見える形のピックアップ				
	・ 天付望遠鏡について				
	ガリレオ式からクプラー式 - ニーリミットのしくみ				
	望遠鏡のやくわり, 目的				
	赤道儀と経緯台				
	大きな望遠鏡の紹介				
気づきなど	○外での観察				
	・ 参加児童 全員が, 熱心に話を聞いてくれ, また質問もあり 感心させられた。				
	・ 雷等の天候の変化も心配していたが, 無事外での観察を終えることができた。				

※報償費支払いの基礎資料となります。実施後はすみやかに御提出ください。

指導員 参加人数	6	クラブ員 参加人数	12
※科学センター記入欄			

科学クラブ活動報告書

クラブ名	ミクロの世界たんけん			クラブ	記入者	末友靖隆
活動日	令和7年7月5日	天候	はれ	活動場所	ミクロ生物館	
タイトル	「夏みくろん」をつくろう&夏の湖のミクロの世界をのぞいてみよう					
内容詳細	1)「夏みくろん」をつくろう					
	・1回目で見つかったミクロ生物をプラバンにトレース					
	→カット→焼いて縮める					
	・縮めたプラバン(ミクロ生物)がお腹に住んでいる					
	「夏みくろん」の工作					
	2)特別プログラム「ゾウリムシ飼育種数日本一！山口大学スペシャルミニ講座					
	ゾウリムシのふしぎにせまろう！」（講師：山口大学共同獣医学部 橋先生）					
	・ゾウリムシってどんなの？ どうしてゾウリムシ？ 本当はべちゃんこじゃないよ					
	・どこにいる？ 何をどうやって食べる？ どうやって泳ぐ？ どうやって増える？					
・ずっと増える？ なかよくなる？ 何種類いる？ ミドリゾウリムシって？						
・ミドリゾウリムシとクロレウの関係（共生） どうやって飼う？						
・4種類のゾウリムシが入った試験管の観察&顕微鏡観察						
気づきなど	・今回も前回同様、小学3年生とは思えないほど博識かつ熱心な子供達の熱意					
	に溢れ、「夏みくろん」も子供達1人1人の愛情が伝わる作品に仕上がった。					
	・山口大学共同獣医学部の橋先生（および度会学部長）による特別講座は					
	高精細で美しい映像と橋先生によるわかりやすい解説の組み合わせにより、					
	専門知識のない小学生でもゾウリムシの魅力や不思議を直感的に理解できる					
	楽しい講座となった。今後は更に連携を深め、市民講座の充実に繋げたい。					
	今回の講座用に購入した消耗品： 工作用プラバン・おゆまる他 6,768 円					
	(1～4回目の講座を通して使用)					
指導員： 末友靖隆、守川明夫、森原彩貴、久保田早重、前田綾、						
村中日向子						

指導員参加人数 4名
クラブ員参加人数 19名

科学クラブ活動報告書

理科実験 クラブ

実施日	令和7年7月12日 土曜日	場所	岩国市立東小中学校
参加者数	19名	天候	晴れ
指導者名	手嶋静 石本直邦 成瀬正枝 辰岡信彦		
実施内容			
ペットボトルで握力計を作る。 アルキメデスの原理(小学校) 流体中の物体は、その体積と等しい体積の流体の重さに等しい浮力を受ける。 パスカルの原理(中学校) 密閉された流体中ではすべての場所の圧力は等しい ボイルの法則(高等学校) 気体はの体積と圧力は反比例する。 ※原理と法則の使い分け ①PETボトルで浮沈子をつくる。 タレビンの首に色々な重さの鉛板を巻いて、それがギリギリ浮くように空気量を調整する。 それをPETボトルに入れて、浮沈子をつくる。 握るとPET内の圧力が上がり、タレビン内の圧力も上がる(パスカル) タレビン内の空気の体積が減る(ボイル)、浮力が減り(アルキメデス) <u>これは、浮くか沈むかの二択しかない</u>。なぜか?? そこで、鉛の代わりに鎖をぶら下げた浮沈子を作る。 沈むと、鎖の長さが減りあかに応じた高さで停止する。			
			
気づきなどを記入してください。			

※科学センター集録の原稿として使用しますので、詳しく書いてください。

※報償費支払いの基礎となります。指導者名は必ず記入し、記入者は記載内容に訂正箇所があるときは、二重線で訂正し訂正印を押してください。実施後は早急に提出してください。

指導員		クラブ員	
参加人数	5	参加人数	18

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	科学エッセイ クラブ			記入者	倉福
活動日	2025.6.21	天候	曇り	活動場所	
タイトル	フィルムケースを利用したエッセイ				
内容詳細	1. フィルムケースのゴザリザクリ ① フィルムケースに 鉄くぎを 穴をあける。 ② フィルムケースのふたに 穴を 2つ 開ける。 ③ ストローの先端を 両面テープで スロハンテープの穴に 挿入する。 ④ 「リード」について 説明。 ⑤ 通箱 数を見え、演奏の練習をする。 ⑥ 演奏して 楽しむ。 2. フィルムケースの年画コズ ① フィルムケースのふたを 取れさせて みる。 ② 黒い紙を 巻きテープで 巻く。 ③ 黄色のシールテープを 巻き 上は 緑色シールを 貼る。 ④ 片方の ほうに 黄色シールを 満月 半月 新月を 貼る。 ⑤ 反対の ほうに 月を 貼る。 ⑥ 演奏して 楽しむ。				
気づきなど	・ 子供達も 楽しんで 活動していた。 ・ フィルムケースを 演奏で 遊ぶ 方法に 気付いた。				

※報告費支払いの基礎資料となります。実施後はすみやかに御提出ください。

指導員 参加人数	3	クラブ員 参加人数	8
-------------	---	--------------	---

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	身近な化学実験 クラブ			記入者	進藤 哲也
活動日	2025 年 8 月 30 日	天候	晴	活動場所	科学センター講座室
タイトル	テーマ: 消化の実験、ルミノール反応の実験 ① デンプンを消化(しょうか)してみよう ② ルミノール反応の実験をしてみよう				
内容詳細	① デンプンを消化(しょうか)してみよう				
	【実験】片栗粉にジアスターゼを加えるとデンプンが消化されヨウ素反応陰性となる。				
	【手順】 1. 試験管に水で片栗粉を懸濁させ、ジアスターゼ錠(タカジア錠)を半錠加える。 2. 割りばしで錠剤を崩壊させながら攪拌する。(デンプンの分解のため 15 分程度) ※ジアスターゼを加えた試験管と比較対象に用いた攪拌用割りばしは別々にすること 3. ポビドンヨードを加えても青紫色にならない。または比較対象より、呈色が弱い。 →デンプンがジアスターゼにより消化(分解)したことが確認できる。				
	【講義】消化、ジアスターゼの効果、医薬品について説明した。				
	② ルミノール反応の実験をしてみよう				
	【実験】ルミノール反応に必要な条件を示し、実際に発光させる				
	試薬: 炭酸ナトリウム、ルミノール、30%過酸化水素、触媒(フェリシアン化カリウム)				
	【手順】ルミノール試薬は指導員側で作成し、その試液と触媒を生徒自身に混合させることでルミノール発光を体験させた。 1. フェリシアン化カリウムをスパーテル1杯分試験管に投入(指導員により) 2. 生徒によりルミノール試薬を数滴滴加。 溶媒: 0.1M $\text{Na}_2\text{CO}_3 \rightleftharpoons 3\text{g}/300\text{mL H}_2\text{O}$ ルミノール液濃度: 3mg/30mL 0.1M Na_2CO_3 過酸化水素添加量: 1mL/5mL ルミノール液 (厳密ではない) ※注意点: 触媒と過酸化水素を先に接触させると、酸素が発生し、過酸化水素が消失する。				
	【結果】発光が観察できた。また、触媒量に発光強度が比例すると考えられ、想定(ヘミン使用時)より高濃度のフェリシアン化カリウムが必要と分かった。また、ルミノール+過酸化水素の溶液にフェリシアン化カリウムを加えると発光が確認しやすい。 <u>(来年への申し送り事項)</u>				
	【講義】ホタルの光を含む化学発光とは何かについて説明した。				
気づきなど	・2 テーマ実施したが、時間配分は妥当であった。				
	・一般的なルミノール反応は水酸化ナトリウムが使用され、炭酸ナトリウムを使用する例は少ない。また、炭酸ナトリウムを使用した発光条件は報告例が少ないので最適な発光条件を開発したい。最終的には安全な実験系を確立したい。 可能であれば、次回、触媒にヘミンを用いることも検討したい。				

指導員	4人	クラブ員	6人
参加人数		参加人数	

※科学センター記入欄

科学クラブ活動報告書

クラブ名	科学実験クラブ			記入者	金川高志
活動日	R.7年8月6日	天候	晴	活動場所	科学センター研修室
タイトル	飛行機				
内容詳細	目的 飛行機の飛行の基本的な理論と自然界の飛行する鳥、昆虫などの飛翔の理論の比較と生体の飛翔を説明、理解してもらう。 方法 飛行機の簡単な歴史から説明。 内容 揚力、推力、抗力、重力のバランス 中心の機能と合則易く知覚実験実施。 ① A4の同一紙に折り目をつけ、空翼の状態を作成扇風機を前部より当て、ベルヌーイの原則による揚力の発生を確認。 ② 鳥の初級風切の飛び方による実験。 ③ コンプューターによる模擬飛行。図解とビデオの実験 15:10～15:30、15:30～15:45、15:45～16:00による説明競演時間終了				
気づきなど	大気の状態による揚力の発生、ベルヌーイの原則の説明、重心による飛行機の姿勢と各翼の意味と往々との伝わりを学ぶ。 毎日生活している時自然界の飛行機を見つめ、自然と学ぶ様に下地と生徒との伝わり。				

※報告費支払いの基礎資料となります。実施後はすみやかに御提出ください。

歴代館長名簿（旧岩国市から通算）

初代館長	河 本 新太郎	昭和35年1月1日	～	昭和37年3月31日
2代館長	佐 伯 武 夫	昭和37年4月1日	～	昭和42年3月31日
3代館長	梅 本 直 一	昭和42年4月1日	～	昭和42年5月24日
4代館長	岩 崎 利 夫	昭和43年9月1日	～	昭和46年3月31日
5代館長	中 川 茂 美	昭和46年4月1日	～	昭和48年5月31日
6代館長	歓 喜 治 朗	昭和48年6月1日	～	昭和49年3月31日
7代館長	高 林 一 郎	昭和49年4月1日	～	昭和50年3月31日
8代館長	横 山 清 一	昭和50年4月1日	～	昭和51年3月31日
9代館長	徳 本 八 郎	昭和51年4月1日	～	昭和52年3月31日
10代館長	玉 井 昭 男	昭和52年4月1日	～	昭和54年3月31日
11代館長	弘 中 毅	昭和54年4月1日	～	昭和56年3月31日
12代館長	岩 崎 利 夫	昭和56年4月1日	～	昭和57年3月31日
13代館長	杉 山 丁 治	昭和57年4月1日	～	昭和58年3月31日
14代館長	清 弘 雄 正	昭和58年4月1日	～	昭和59年3月31日
15代館長	長 和 信 夫	昭和59年4月1日	～	昭和61年3月31日
16代館長	原 田 明	昭和61年4月1日	～	昭和62年3月31日
17代館長	長 光 史 記	昭和62年4月1日	～	平成元年3月31日
18代館長	岸 本 道 雄	平成元年4月1日	～	平成2年3月31日
19代館長	栗 栖 琢 也	平成2年10月1日	～	平成4年3月31日
20代館長	中 原 一 雄	平成4年4月1日	～	平成5年3月31日
21代館長	岸 村 進	平成5年4月1日	～	平成10年3月31日
22代館長	尾 崎 輝 雄	平成10年4月1日	～	平成11年3月31日
23代館長	津 山 直 人	平成11年4月1日	～	平成12年3月31日
24代館長	田 屋 尚 文	平成12年4月1日	～	平成14年3月31日
25代館長	市 山 忠 行	平成14年4月1日	～	平成16年3月31日
26代館長	石 本 直 邦	平成16年4月1日	～	平成22年3月31日
27代館長	広 津 毅	平成22年4月1日	～	平成24年3月31日
28代館長	川 戸 裕 司	平成24年4月1日	～	平成25年3月31日
29代館長	末 弘 隆 司	平成25年4月1日	～	平成26年3月31日
30代館長	小 田 修 司	平成26年4月1日	～	平成26年9月30日
31代館長	吉 村 比呂志	平成26年10月1日	～	平成27年3月31日
32代館長	浜 川 智 也	平成27年4月1日	～	平成29年3月31日
33代館長	森 本 敦 彦	平成29年4月1日	～	平成31年3月31日
34代館長	林 孝 造	平成31年4月1日	～	令和3年3月31日
35代館長	中 村 洋 一	令和3年4月1日	～	令和4年3月31日
36代館長	弘 中 勝	令和4年4月1日	～	令和5年11月30日
37代館長	丸 川 浩	令和5年12月1日	～	令和6年3月31日
38代館長	大 黒 屋 誠	令和6年4月1日	～	

科学センター年報 第 68 集

令和 8 年 8 月 8 日 発行

岩国市科学センター

住所 岩国市黒磯町二丁目 9 番 1 号

TEL (0827) 22-0122

FAX (0827) 31-8101

e-mail iwkagaku@city.iwakuni.lg.jp

表紙の写真

「令和 7 年度岩国市・和木町科学振興展覧会表彰式」

令和 7 年 11 月 5 日